

だんだん

放送大学島根学習センター
150号

2026年1月発行



〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4 階

☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉ shimane-sc@ouj.ac.jp



学生研修旅行
「岡山県高梁市成羽町 吹屋ふるさと村」



面接授業「江戸時代の松江」

◆所長から	2
◆客員教員の「談・談」	3
◆行事の報告	4～5
◆行事の案内	6
◆お知らせ	7～12
◆島根同窓会通信・サークル案内・学友会だより	12～15
◆スケジュール（1・2・3月）	16

手書きの効用



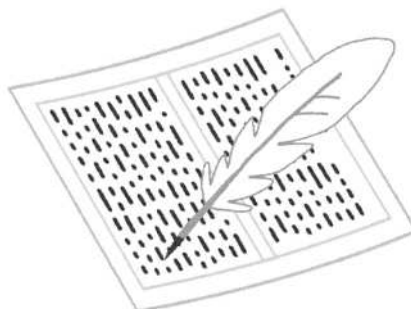
出口 顯
(島根学習センター所長)

鉛筆やシャープペンシルを使っていた高校生も大学に入ると、レポートの提出もパソコンを使うようになってきます。また普段の友人たちとのやりとりもスマホによる SNS を使います。つまり「書く」のではなく、どの場合も同じキーボードを「打つ」あるいは「触れる」ことが主流になります。そこで非常勤で教えている大学の学生に「今でも長めの文を手書きすることがあるか、あるとしたらどのような場面か、ないとしたら何故なくなったのか、自分の経験を踏まえて、打ち言葉は自分の書き言葉をどのように変えたかを述べなさい。」というレポートを課してみました。

多くの答えをまとめると次のようになります。「SNS に投稿する文体は口頭の会話に近く、句読点よりも改行や絵文字を多用する。しかしそのために授業でレポートを提出するとき、論文調の書き方がすぐにはできないことがある。SNS でも目上の人に送るべき適切な言葉遣いがわからず困ることもある。語彙力が乏しくなったとも思う。さらに SNS ではすぐ言葉の候補が出てくるので漢字を忘れ書けなくなってしまった。」

哲学者のニーチェは、人間が道德を守る社会的な存在になるとき必要なのは、約束であるが、約束を守るために必要なのは記憶させることである、しかし「記憶に残るようにするためには、それを焼きつけるしかない。苦痛を与えつつけるものだけが、記憶に残る」と言っています(『道德の系譜学』)。繰り返し鉛筆や筆を握られ漢字や仮名を学校で書かされる「苦痛」を体験したからこそ、「道德的な社会人」として私たちは正しい漢字を書くことができ、適切な言葉遣いの文を書くことができるようになったのです。

安易に変換予測してくれるパソコンやスマホ、さらには AI に頼ることなく文章を書くことを実践してみてもいいのではないでしょうか(といいながらこの文は、職員の人の手を煩わさないために、「仕方なく」パソコンを使って書いているのですけれど)。





松江ゆかりの文学者

客員教授 武田 信明

松江では小泉八雲ことラフカディオ・ハーンがおおいに話題になっています。ハーンが松江にやってきたのは明治23年（1890年）。島根県尋常中学校と島根県尋常師範学校で教壇に立ち、松江の中学生たちに英語を教えました。

しかしここでは、ハーンではなく、そこから14年ほど時間を戻した明治9年の一人の中学生のお話をします。名前は長谷川辰之助。愛知県会計官吏であった父の島根県転勤に伴い、明治8年5月松江の殿町に転居、翌年には島根県教員伝習校の変則中学科に入学します。ハーンが教壇に立った尋常師範学校の前身です。長谷川辰之助は明治21年上京し、やがて東京外国語学校に入学、そして明治20年、二葉亭四迷という筆名で小説「浮雲」を発表し、一躍文壇の中心に躍り出ます。「浮雲」は日本文学史の教科書に近代小説の嚆矢として必ず記される有名な作品です。この時期、小説家は言文一致運動と呼ばれる新しい小説文体の創出に苦心していました。その中心的存在が、二葉亭四迷と山田美妙の二人であったとされています。

きわめて興味深いことに、この山田美妙もまた松江ゆかりの作家です。美妙の父山田吉雄は島根県警部長として明治3年から19年まで松江に赴任しており、同じ公務員同士ということで二葉亭四迷の父親と懇意にしていたのです。四迷と美妙は後に東京で邂逅します。

こうして見るなら、日本近代文学の礎とも言える二人の作家が、ともに松江と深い関係を持っているという偶然に驚くばかりです。松江では、ハーンばかりが目立っていて、彼らのことはほとんど誰も知りませんが、もう少し思いをはせてもいいと考えます。



歴史的集落探究のたのしみ

客員教授 中野 洋平

皆さんは今、どのような場所にお住まいでしょうか。私は1980年代に整備された新興住宅地で育ちました。そこは家々が整然と並び、純粋に「住宅」機能のみに特化された均質な空間でした。しかし、そのすぐ隣には対照的な環境を持つ集落が存在していました。

その集落には、住宅だけでなく神社や寺、共同利用されてきた水路や作業場などが点在しています。新興住宅地が「住居」だけの空間であるならば、集落は「住居」と人々の「暮らしを支える仕組み」が長い時間をかけて一体となった、有機的な空間でした。

両者の違いは歴史の積み重ねにあります。新興住宅地が誕生から50年足らずであるのに対し、その集落は江戸時代以前から400年以上の時を刻んできた歴史的集落でした。そこには、人々が地域の気候風土や社会の変遷に適合するために編み出してきた「日々の暮らし」が、まるで地層のように積み重なっています。

新興住宅地での生活は基本的に個人の完結した営みが中心です。それに対し、歴史的集落では、神社の祭りや四季折々の年中行事、あるいは地域住民総出で行う水路の清掃といった「共同の営み」が生活のごく当たり前の要素として機能しています。

このような、集落で歴史的に積み重ねられてきた暮らしを紐解くことは、その地域に生きる人々の「生きざま」、すなわち彼らがどのように自然の恵みと脅威に向き合い、困難を乗り越え、互いに助け合って日常を築いてきたのかを知る貴重な手がかりとなります。また、反対に私が暮らしたような新興住宅地、ひいては現代社会における生活のあり方そのものを、相対的に見つめ直す機会にもなります。皆さんも、身近な歴史的集落を探究してみたいはいかがでしょうか。

行事の報告

◆ 公開講演会 ◆

10月～12月に益田市、浜田市、出雲市、安来市で公開講演会を開催しました。

「フランスと日本の交流 一言葉と文化の受容」

島根学習センター客員准教授・島根大学准教授

安齋 有紀 氏

- ・日 時 10月4日(土) 14:00～15:30
- ・会 場 益田市立図書館視聴覚室
- ・参加者 12名

- ・日 時 10月5日(日) 10:30～12:00
- ・会 場 いわみーる302研修室(浜田市)
- ・参加者 7名

「夏目漱石の世界―「三四郎」を読む―

島根学習センター客員教授・島根大学名誉教授

武田 信明 氏

- ・日 時 11月1日(土) 14:00～15:30
- ・会 場 出雲市立ひかわ図書館視聴覚室
- ・参加者 50名

「茶室の冒険：安来とパリ」

島根学習センター客員教授・島根大学教授

千代 章一郎 氏

- ・日 時 12月6日(土) 14:00～15:30
- ・会 場 和鋼博物館映像ホール(安来市)
- ・参加者 53名



◆ 修士論文発表会・公開講演会開催 ◆

12月6日(土)放送大学島根学習センター第1講義室にて、公開講演会、修士論文発表会を開催しました。

●第1部 修士論文発表会 13:30～14:50 参加者 13名

- ・「職業音楽療法士のコンピテンシー
～コンピテンシー・モデルの開発と評価による検討～」
発表者：金築朋子さん
- ・「英語授業におけるタスク性を高めた言語活動の実践
～高校英語教科書内の言語活動のタスク性分析とその応用～」
発表者：遠藤香菜子さん

●第2部 公開講演会 15:00～16:30 参加者 15名

「老化期の転倒予防について～高齢者から幸齢者への第一歩～」
兵庫学習センター所長・神戸大学名誉教授 岡田 修一 氏



◆ 面接授業 ◆

2025 年 2 学期に実施した面接授業の一部をご紹介します。

科目名：「江戸時代の松江」

講 師：小林 准士 氏（島根大学教授）

島根学習センターが立地する白潟地区は、かつての町人地や寺町などでした。松江藩によって治められた城下町松江の成り立ち、松江の寺院と神社の役割、町人の営みや娯楽、江戸時代における宍道湖と大橋川の利用のされ方などを座学で学びました。現地見学では、松江市街が一望できる山陰合同銀行展望フロアから松江の町並みを確認した後、白潟周辺の鉤形路や神社、寺などをめぐりました。現在放送中の朝ドラ「ばけばけ」ゆかりの地などにも訪れ、松江の特色あふれる授業となりました。

次学期も様々なジャンルの面接授業を開講する予定です。まだ面接授業を受講したことが無い方もぜひ受講してみてください。



◆ 学生研修旅行 ◆

実施日：10月18日（土）

訪問先：岡山県高梁市成羽町吹屋

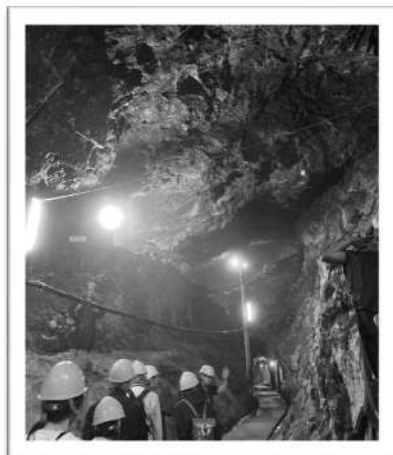


島根学習センターでは、毎年秋に日帰りで研修旅行を実施しています。今年は、まだ暑さの残るなか学生18名、職員3名の総勢21名で岡山県吹屋ふるさと村を訪れました。吹屋に向かうバスの中では、同地区で生産されたベンガラや吹屋の町並みが形成される過程などを事前に学習し、最初に訪れた笹畝坑道ではヘルメットを着用して坑道内部に入り、当時の採掘の様子などの説明を受けました。次に2012年まで現役最古の木造校舎として使用されていた旧吹屋小学校を見学後、吹屋の町を参加者それぞれが自由に散策しました。

初めて研修旅行に参加した学生も多かった今回の旅ですが、見学地の事や普段の学習の話題など、自然と会話が弾み良い交流の機会が生まれました。今後もこのような学びと交流の機会を作っていきますので、まだ参加されたことが無い方も、ぜひご参加ください。

旧吹屋小学校

坑道内部を見学、天井が低い場所あり。頭上注意！



吹屋の町並み
屋根瓦には、島根から石州瓦の職人を招き作らせた瓦が使われています。

こちらが笹畝坑道です！



行事の案内

◆ 公開講演会 ◆

公開講演会を以下のとおり開催します。事前にお申し込みください。(☎0852-28-5500)

● 『通過儀礼』の現在

島根学習センター所長（島根大学名誉教授） 出口 顕 氏

日 時：1月17日（土） 14：00～15：30

場 所：放送大学島根学習センター第1講義室(スティックビル3F)

内 容：皆さんは「通過儀礼」をご存じでしょうか。

「通過儀礼」とは、誕生、成人、結婚、死などの人生の節目に行われる儀礼のことで、その中でも社会や集団の一人前のメンバーになるときに行われる「通過儀礼」を「イニシエーション」と呼びます。この講演では、アフリカの伝統的な「イニシエーション」を紹介した後、現代日本での「通過儀礼」がどのようなようになってきているかを考えてみたいと思います。

◆ 入学説明会・相談会 ◆

2026年4月入学に向けた「入学説明会・相談会」を開催します。

ご家族、友人、お知り合いの方々にぜひご紹介ください！

いつでも、だれでも、自由な学びを あなたの学びを応援します！

出願受付期間は 11/26～3/16 です。



入学説明会・相談会の予定は次のとおりです。

○松江会場	2月 8日（日）	10：00～	島根学習センター
	3月 1日（日）	14：00～	
○出雲会場	1月10日（土）	13：00～	出雲中央図書館
	2月21日（土）		
○浜田会場	1月31日（土）	14：00～	県西部社会教育研修センター
	2月13日（金）	9：00～	
○益田会場	2月 1日（日）	10：00～	益田市立図書館
	2月12日（木）	14：00～	

◆ 学位記授与式・入学者のつどい ◆

期 日：3月29日（日）

場 所：スティックビル3階 第1講義室

日 程：10：40～ 学位記授与式 13：30～ 入学者の集い



お知らせ

◆ 学習相談のお知らせ ◆

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談票に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。（電話、メールでの申込みの場合は希望日時、相談内容等をお伝えください。）

■ 相談時間 1人1時間以内

■ 学習相談票は、窓口および島根学習センターWeb サイトにご用意しています。

【問合せ】島根学習センター ☎ 0852-28-5500 ✉ shimane-sc@ouj.ac.jp



教 員 名 (専門分野)	学 習 相 談 日	
安 齋 有 紀 (フランス語学)	1月	8日(木) 9:30~12:30
		15日(木) 14:00~17:00
	2月	12日(木) 9:30~12:30
		27日(金) 9:30~12:30
	3月	26日(木) 9:30~12:30
		31日(火) 9:30~12:30
大 谷 修 司 (植物分類学)	1月	15日(木) 9:30~12:30
		28日(水) 9:30~12:30
	2月	10日(火) 9:30~12:30
		25日(水) 9:30~12:30
	3月	18日(水) 9:30~12:30
		25日(水) 9:30~12:30
千 代 章 一 郎 (建 築 論)	1月	13日(火) 9:30~12:30
	2月	17日(火) 9:30~12:30
	3月	3日(火) 9:30~12:30
武 田 信 明 (日本近代文学)	1月	7日(水) 13:00~16:00
		13日(火) 13:00~16:00
	2月	4日(水) 13:00~16:00
		12日(木) 13:00~16:00
	3月	4日(木) 13:00~16:00
		12日(水) 13:00~16:00
中 野 洋 平 (民 俗 学)	1月	8日(木) 13:00~16:00
		16日(金) 9:30~12:30
	2月	6日(金) 9:30~12:30
		13日(金) 9:30~12:30
	3月	6日(金) 9:30~12:30
		7日(土) 9:30~12:30
村 瀬 俊 樹 (心 理 学)	1月	9日(金) 13:30~16:30
		16日(金) 13:30~16:30
	2月	7日(土) 13:30~16:30
		13日(金) 13:30~16:30
	3月	7日(土) 13:30~16:30
		13日(金) 13:30~16:30
出 口 顕 (文化人類学)	随時(出勤日)	

◆ ゼミのお知らせ ◆

島根学習センターでは客員教員によるゼミ（学習会）を実施しています。

＜ゼミとは＞

客員教員が、専門の分野に沿って開講する少人数・双方向型の学習会です。講義を受講するだけでなく、教材をもとに質疑応答などを交えながら学習を深めていきます。単位の取得はできませんが、直接先生から指導を受けられ、学生同士のディスカッションや交流のできる貴重な機会です。現在、フィールドワークを含む6つのゼミを開講しています。

受講料は無料です*。

※学研災（100円/6年）への加入が必要なゼミもあります。

教室でディスカッションを行ったり、フィールドワークで実際に研究対象に触れたりして学びを深めていきます。



各ゼミのテーマや先生の専門分野についてご興味のある方、単位・試験にとらわれず学びを深めたい方、などのご参加をお待ちしております。

2025 年第2学期に開講中のゼミをご紹介します

講 師	テーマ	
安齋 有紀 准教授	言語や文化を対照する	木曜 10:00～
大谷 修司 教授	自然から学ぶ：秋から冬の身近な植物を観察しよう	水曜 10:30～
千代 章一郎 教授	建築の歴史	火曜 9:30～
武田 信明 教授	小説を読む楽しみー尾崎翠の世界	水曜 13:30～
中野 洋平 准教授	フィールドワークから学ぶ民俗学：日本のまつりを読み解く	木曜 13:30～
村瀬 俊樹 教授	実験・調査を通して知る 心の仕組み	水曜 10:30～

2026 年度 1 学期ゼミの詳細・申込みについては、3 月以降に島根学習センターWeb サイト、掲示板、機関誌だんだん151号（4月発行）にてお知らせいたします。

来年度からの受講に向けて、ゼミの様子を見学してみたい方は島根学習センターまでお問い合わせください。

※ゼミによっては見学ができないもの、見学の場合でも学研災（100円/6年）への加入が必要なものがあります。

◆ 単 位 認 定 試 験 ◆

『学生生活の栞』 教養学部 72～82 頁 大学院 77～86 頁

下記の日程で単位認定試験が実施されます。必ずこの期間に受験してください。

●提出期間

試験の出題形式により試験期間が異なりますのでご注意ください。

・択一式科目：2026年1月18日（日）9：00～1月26日（月）17：00

・記述式・併用式科目：2026年1月18日（日）9：00～1月22日（木）17：00

・郵送提出科目：2026年1月18日（日）～1月22日（木）、＜必着＞

郵送提出科目・・・「行政学講説(24)」、「正多面体と素数(21)」、
「日本美術史の近代とその外部(18)」、「量子化学(19)」



◆ 履 修 相 談 会 ◆

履修計画の立て方、科目登録の仕方など、お気軽にご相談ください。

いずれの会場も 1人40分程度、**要予約**
島根学習センターまでお申し込みください。



場 所	相談日	時 間	申込〆切
島根学習センター	2月14日（土） 15日（日） 17日（火）	10：00～12：00 14：00～17：00	2月10日（火）
益 田 コ ー ナ ー （益田市立図書館）	2月12日（木）	14：00～17：00	2月8日（日）
浜 田 コ ー ナ ー （いわみーる3階）	2月13日（金）	9：00～12：00	

◆ 図 書 ・ 視 聴 室 ◆

◆図書・視聴室の利用時間 9：30～17：30（学習センター開所日）

※なお、2026年4月からの閉所日2日制導入に伴い、4月からは図書・視聴室の利用可能日も変更になります。お越しの際は学習センターWebサイトで開所日をご確認ください。

◆単位認定試験期間中のご利用

1月18日（日）～1月26日（月）は、単位認定試験を島根学習センターで受験する方以外の図書・視聴室利用はできませんのでご了承ください。
（島根学習センターで受験する方は、受験日のみ使用できます。）



◆面接授業参考図書のご紹介

＜第2学期面接授業参考図書を配架しました。ぜひ学習にお役立てください＞

・なぜ地方女子は東大を目指さないのか 江森百花・川崎莉音 著（光文社）

・松江市史 通史編3 近世1 松江市史編集委員会 編（松江市）

※その他、面接授業前の一定期間のみ配架している参考図書もあります。気になる参考図書がありましたら、図書・視聴室もたずねてみてください。

◆ 次学期の出願（継続入学）及び科目登録について ◆

『学生生活の栞』 教養学部 61～66・95～97 頁 大学院 65～71・100 頁

放送大学は2学期制をとっています。あなたの学籍は次学期も続いていますか？

次学期（2026年度第1学期）の申請手続きは、「学籍の有無」、「学生の種類」などにより異なります。ご確認の上、手続きを行ってください。

あなたの学籍はどうなっていますか？

今学期末で学籍が切れる方で
引き続き本学に入学を希望される方
出願（継続入学）

大学本部から

◆ 入学用関連書類 送付

次学期も学籍が続く方
科目登録

大学本部から

◆ 科目登録申請要項 送付

★ 出願手続き

出願期間内に、システム WAKABA または郵送で出願してください。

（システムWAKABAの「教務情報→継続入学申請」からできます。）

WAKABA	11月26日（水）9：00 ～3月16日（月）17：00
郵 送	11月26日（水）～3月16日（月） 【私書箱必着】

* 2025 年度第2学期末で卒業見込みの方は成績確定後に出願してください。

* 原則として3月上旬以降に本部から選考結果通知と払込取扱票が届きます。

* 次学期に再試験のみ希望される場合も、継続入学の手続きが必要です。

* 面接授業の登録申請も希望する方は、科目登録申請期間中（2月13日9時～2月27日24時）に学生募集要項6～7頁参照のうえ、システムWAKABAにて出願を行ってください。

科目数、単位数は学習計画や自分のペースに合わせて選択してね。

★ 科目登録申請

申請期間内に、システム WAKABA または郵送で登録申請をしてください。

（システムWAKABAの「教務情報→科目登録申請」からできます。）

WAKABA	2月13日（金）9：00 ～2月28日（土）24：00
郵 送	2月13日（金）～2月27日（金） 【私書箱必着】

* 申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」などの関係資料が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部（Tel 043-276-5111（学生サポートセンター））にご連絡ください。

* 面接授業の科目登録を希望される方は、併せて申請してください。

* 本部から科目登録決定通知書と払込取扱票が届きます。

面接授業は、学期当初の登録だけでなく、空席のある科目については学期途中に各学習センターで追加登録ができます。ただし、2026年度1学期からの追加登録には手数料がかかります。
授業料（6,000円）＋手数料（200円）



◆ 面接授業 ◆

2026 年度第 1 学期 島根学習センター開設の面接授業一覧

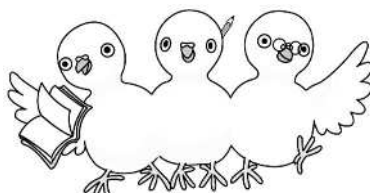
科目登録の際は、必ずシステム WAKABA「シラバス」もしくは冊子「面接授業時間割表(中四国ブロック版)」で授業概要等の詳細をご確認ください。

◎…BYOD 科目です。

★…学習センター以外の場所で行う面接授業です。

◆…フィールドワークを行う授業です。必要に応じて学生教育災害傷害保険加入の手続きを行ってください。

	科目区分	科目名	講師名	定員	実施日
基盤	外国語	◆ 小泉八雲と松江	宮澤 文雄	40	6月 6日(土) 6月 7日(日)
導入	人間と文化	日本神話と海外神話	山村 桃子	40	5月 9日(土) 5月10日(日)
専門	生活と福祉	認知症の基礎知識とケア	長濱 道治	40	4月18日(土) 4月19日(日)
		ヤングケアラー概論	宮本 恭子	40	6月20日(土) 6月21日(日)
		栄養管理について学ぼう！	澤 幸子	40	7月 4日(土) 7月 5日(日)
	心理と教育	社会心理学	豊島 彩	30	5月16日(土) 5月17日(日)
	社会と産業	◎◆ 建築遺産の空間学 2	千代 章一郎	20	5月30日(土) 5月31日(日)
	人間と文化	島根の神楽を学ぶ	中野 洋平	40	5月16日(土) 5月17日(日)
		★ 石見銀山の遺跡とその歴史 ※実施会場：石見銀山世界遺産センター	遠藤 浩巳	30	6月13日(土) 6月14日(日)
	自然と環境	◆ 活断層がもたらす災いと恵み	向吉 秀樹	25	4月25日(土) 4月26日(日)
		★◆ 水中の微小生物の採集と観察 ※実施会場：秋鹿なぎさ公園 (6/21)	大谷 修司	20	6月20日(土) 6月21日(日)



◆学習センター在籍状況（令和7年2学期）◆

◆学生の種類別

教養学部	全科履修生	323	460	大学院	修士全科生	1	25
	選科履修生	85			修士選科生	17	
	科目履修生	45			修士科目生	5	
	特別聴講生	7			博士全科生	2	
					特別聴講生	0	
令和 7 年度第 2 学期在籍者数合計 485 名							

◆市町村別（学部と大学院の合計数）※（）内は県内住所地別学生数

松江市	201 (202)	大田市	14 (14)	津和野町	0 (2)	米子市	66
安来市	15 (15)	江津市	5 (5)	吉賀町	0 (6)	境港市	10
出雲市	93 (96)	浜田市	18 (24)	海士町	1 (1)	大山町	5
雲南市	9 (9)	益田市	7 (13)	西ノ島町	2 (2)	日南町	1
奥出雲町	7 (7)	川本町	0 (0)	知夫村	1 (2)	伯耆町	5
飯南町	1 (2)	美郷町	0 (0)	隠岐の島町	1 (1)	南部町	3
		邑南町	1 (6)			その他	19
東部計	326 (331)	西部計	45 (70)	隠岐計	5 (6)	県外計	109

島根同窓会通信 (52)

2025年12月1日現在 会員数 73名

第28回連合会総会に参加しました

11月8日（土）～9日（日）広島学習センター3F 大講義室において、第11回放送大学同窓会中四国交流会が開催され、島根からは石川会長はじめ4名が参加しました。



大学本部からは仁科図書館長、連合会本部からは、須藤会長、高橋理事に参加いただきました。今回は全体会議のあと、課題別に3グループに分かれ討議し最後に各グループから発表という形式でありました。初日の最後には、次期幹事の愛媛同窓会加幡会長へ広島稲垣会長からバトンが渡され来年の再開を誓って終わりました。二日目は、被爆80周年でもある平和記念資料館の見学と被爆伝承者からの講話を聞き解散となりました。

植樹による森林保全活動へ参加しました

11月8日（土）10:00～12:00、今年も地域貢献活動の一環として、島根同窓会は第8回「さんいん環境キャンペーン森林保全活動」へ参加しました。今年は晴天にも恵まれ、玉造「歌仙山」から始まり、現在の東長江町の「菓子山（かこやま）」に移して8回目となり、清々しい秋晴の中で苗木「黒松500本、山桜100本」を定植しました。役員を含め6名の参加をいただきました。


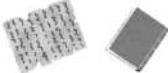



2026年に向けての抱負

新しい年が始まりました。昨年は、①交流の場の提供、②センター事業への協力と連携、③地域貢献の推進を目標に活動を進めてきました。今年はさらにこれらの活動を継続・深化させるとともに、特に「会員相互の交流促進」と「新規会員の獲得」を最重要課題と位置付けたいと考えています。

具体的な活動を通じて、会員の皆様が「参加してよかった」と思えるような、魅力的で活気ある同窓会を目指してまいります。本年もよろしくお願い致します。

◆ サークル紹介 ◆

<p>学友会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動:随時 ● 年会費 1,000 円 (2 学期からの新規入会は 500 円) ● 代表者:藤嶋 	<p>学生研修旅行(センターとの共催)、松江散策ツアー、学友会だよりの発行、入学者ガイダンスへの参加など学習に役立つことや学生間の交流を行っています。また、学生に不要となった印刷教材の再利用(リユース)などの取り組みもしています。</p>
<p>古文書を読む会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎月1回 第3水曜日 13:00~15:30 ● 会費:月額500円で6ヶ月分前払い ● 代表者:竹下 ※学外者も入会可 	<p>古文書を自分で読めた時の喜びや達成感は計り知れません。毎回講師を招き、江戸時代に書かれた古文書の原文を読み下すだけでなく、当時の社会構造や武家社会の状況、村に残されていた村方文書についても解説します。さらに時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。特に松江藩郡奉行文書(全国で唯一訴状から裁きが終わるまでの文書)は身近な地名や人物が判明して、興味が一段と湧いてきます。</p>
<p>だんだんサロン・表現の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎月1回 主に第3木曜日 13:30~16:00 ● 会費:無料 ● 代表者:知野見 ※学外者も入会可 	<p>表現活動(話す・書く)を通して、豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的として以下の活動を行っています。</p> <p>(おしゃべり会)自由な話し合いを通して、話しことばの楽しさを学ぶ</p> <p>(作文の時間)作文を読みあうことで、文章表現を学ぶ</p> <p>※前半は「おしゃべり会」後半は、「作文の時間」です。どちらかだけの参加もできます。</p>

サークルへの入会希望、質問等は島根学習センターまでお問い合わせください。
おって、サークル代表者よりご連絡いたします。

【問合せ】島根学習センター ☎ 0852-28-5500 ✉ shimane-sc@ouj.ac.jp

◆ 島根学習センターWeb サイトのご案内 ◆

Web サイトでは単位認定試験、面接授業、公開講演会など、時期に合わせた重要なお知らせを掲載しています。ぜひご覧ください。ブックマークに登録しておくとう便利です。




島根学習センターWebサイトを ご活用ください！

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shimane/>

島根学習センター

🔍

で検索!!



学友会だより

第 50 号
島根学習センター学友会
発行者 藤嶋教彰
2025 年 12 月発行

第 50 号の節目にあたって

会長 藤嶋 教彰

様々な方からのご支援を賜り、学友会だよりは第 50 号を迎えました。会員の皆様、親身に支援をしてくださった島根学習センターの皆様、コラム企画で寄稿をしてくださった皆様、そして様々な場面でご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

50 号にたどり着くまでに、様々な面で大きな変化が生じました。特に、放送大学が「オンライン化」に大きく舵を切った点が大きいかと思います。今ではインターネット配信を介して放送授業の受講だけではなく、一部の面接授業をオンラインで受講できるようになりました。そして、通信指導問題と単位認定試験のオンライン受験が義務化されました。島根学習センターにおいては、今年度より機関紙「だんだん」の冊子配布を終了し、島根学習センターHP の機関紙紹介ページ (<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shimane/about/magazine.html>) でのオンライン配布となりました。様々な事を自宅で行えるようになり利便性が向上した一方、島根学習センターに来る学生の数や来所頻度が減少したり、パソコンを扱うことが苦手な学生が、情報取得や操作に苦勞する場面が多く出ています。

学友会の活動も運営する役員や時代の変化に伴い、様々な変化をしていきました。ここ最近であれば、新入生と在学生が話をする茶話会から学生生活のアドバイスを行う新入生ガイダンスへ変えたり、コロナ禍を契機として近距離の散策ツアーを行ったり、動かない生活による体力低下を抑えるためのロコモ体操教室を実施したりしてきました。この学友会だよりは第 47 号まで機関紙だんだんの冊子に同封される A4 用紙 1 枚で配布しておりましたが、48 号からだんだんの中に組み込んでいただき、電子媒体でのみの提供となっています。

この大きな節目にあたり、学友会だよりを用いた情報発信について変更を予定しています。最近の学友会だよりでは、学友会員以外の人にも広く情報発信することを目的とし、学友会が関わった事業の開催報告、事業の予定、そして放送大学を過ごすうえで有用な知識について書いていきました。これを 少なくとも 1 度は見るであろう物理的な紙で配ることで幅広い人に情報を届けていました。しかしながら今回の電子媒体化により、学友会だよりは意識的に見に行かない限り読むことができなくなりました。これにより広く情報発信する会報誌としての役割は終わりとなりました。今後は別の目的をもって内容を変えるか、別のものに置き換えるかをしていく必要があると考えております。

この文章をご覧になっている方の多くが、自分の意思で機関紙だんだんを閲覧し、意識して学友会だよりを読んでもらっている方が多いでしょう。ご愛読いただき、大変感謝いたします。

学生研修旅行実施報告

会長 藤嶋 教彰

2025 年 10 月 18 日（土）に 2025 年度の学生研修旅行を実施し、岡山県の吹屋ふるさと村へ行きました。当日は曇りで、暑さもちょうど良い日でした。帰りに雨が降りましたが、研修旅行

の時間は天候が持ちました。歴史について非常に詳しい平野事務長の説明も冴えわたり、非常に良い旅行ができました。

吹屋は「ベンガラ」という非常にきれいな赤色に染める顔料で有名になった場所です。最初は吹屋銅山笹畝坑道を訪れ、銅やベンガラをどのようにとっていたのかについて現場を見ながら学習しました。また、現在でも温度等が一定に保たれる環境を利用して、大典白菊の長期熟成清酒貯蔵庫として利用されているのを見ました。その後、吹屋小学校を訪れ、吹屋の様々な歴史を学びました。そして、吹屋の風情ある街並みを散策しました。



～第5回健康維持増進のためのロコモ体操教室開催について～

健康に長生きするためのロコモ体操を学ぶ教室を今年度も以下の内容で開催します。この教室は学友会員でない方も参加できます（会員にはお茶のサービスが付きます）。毎度、満足度が高い内容になっていますので、奮ってご参加ください。お待ちしております。

日時：2026年3月8日（日）10：30～11：30

場所：放送大学島根学習センター 第1講義室

内容：体の痛みが起きにくくなるような姿勢づくりの体操

講師：（株）SKSS 佐藤 花織 様

※未加入の方は実施前日までに学生教育研究災害傷害保険【学研災】100円（6年間有効）へご加入ください。加入は放送大学島根学習センターでできます。

スケジュール

【ゼ】ゼミ 【相】学習相談 ●面接授業

1月		
日	曜	行事
1	木	閉所日
2	金	閉所日
3	土	閉所日
4	日	閉所日
5	月	閉所日
6	火	【ゼ】千代
7	水	【ゼ】大谷 【相】武田
8	木	【相】安齋 【相】中野
9	金	【相】村瀬 単位認定試験体験会（松江）
10	土	入学説明会・相談会（出雲）
11	日	●天変地異の文化史
12	月	閉所日 成人の日
13	火	【相】千代 【相】武田
14	水	図書視聴室閉室
15	木	【相】安齋 【相】大谷
16	金	【相】中野 【相】村瀬
17	土	公開講演会（松江）
18	日	図書視聴室閉室 単位認定試験
19	月	閉所日
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	閉所日 天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	閉所日
27	火	
28	水	【ゼ】武田 【ゼ】村瀬 【相】大谷
29	木	【ゼ】安齋 【ゼ】中野
30	金	
31	土	学説明会・相談会（浜田）

2月		
日	曜	行事
1	日	学説明会・相談会（益田）
2	月	閉所日
3	火	
4	水	【ゼ】大谷 【相】武田
5	木	
6	金	【相】中野
7	土	【相】村瀬
8	日	入学説明会・相談会（松江）
9	月	閉所日
10	火	【相】大谷
11	水	閉所日 建国記念の日
12	木	【相】安齋 【相】武田 入学相談会・履修相談会（益田）
13	金	【相】中野 【相】村瀬 入学相談会・履修相談会（浜田）追加登録開始
14	土	履修相談会（松江）
15	日	履修相談会（松江）
16	月	閉所日
17	火	【相】千代 履修相談会（松江）
18	水	図書視聴室閉室
19	木	【ゼ】安齋 【ゼ】中野
20	金	
21	土	入学説明会・相談会（出雲）
22	日	
23	月	閉所日
24	火	【ゼ】千代
25	水	【ゼ】武田 【ゼ】村瀬 【相】大谷
26	木	
27	金	【相】安齋 第1回出願締切追加登録締切（郵便必着）
28	土	追加登録締切（Web）



3月		
日	曜	行事
1	日	入学説明会・相談会（松江）
2	月	閉所日
3	火	【相】千代
4	水	【ゼ】大谷 【相】武田
5	木	【ゼ】中野
6	金	【相】中野
7	土	【相】中野 【相】村瀬
8	日	
9	月	閉所日
10	火	【ゼ】千代
11	水	図書視聴室閉室
12	木	【相】武田
13	金	【相】村瀬
14	土	
15	日	
16	月	閉所日 第2回出願締切
17	火	
18	水	【ゼ】武田 【相】大谷
19	木	
20	金	閉所日 春分の日
21	土	
22	日	
23	月	閉所日
24	火	
25	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷
26	木	【相】安齋
27	金	
28	土	
29	日	★学位記授与式・入学者のつどい
30	月	閉所日
31	火	【相】安齋

開所時間 9:30~17:30

MEMO

新しい年が始まりました。皆さまそれぞれに目標を決め、新たな気持ちで学習に取り組まれることと思います。まずは1月18日からの単位認定試験に向けて、これまでの勉強の成果を発揮できるよう応援しております！（森脇）

